

広報

ひかりがわ



「せーの! よいしょ〜☆」

12月18日と20日の2日間、株ふるさと企画の10周年記念行事のひとつとして、村内2つの保育園で“餅つき”が行われました。

「よいしょ〜」という周囲の掛け声とともに杵を振り下ろすのは、戸惑いながらも嬉しそうな園児と、それを支える安江村長。しばらくすると、白く丸いかたまりが石臼の中に姿を現し、きな粉やあんこと共に園児たちのお腹の中へ…。どことなく正月らしい雰囲気漂う冬のひとときでした。

1

No.

487

2002

新 年



次 世 代 へ の 贈 り も の

東白川村長 安江啓次

新年明けましておめでとうございます。

希望に輝く初春を迎え、村民の皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

昨年は、米国中枢テロ事件・アフガニスタンへの侵攻、国内では狂牛病問題や失業者の増加等暗いニュースの多い中、12月に皇室に待望の内親王がご誕生になりましたことは、新しい年に夢と希望をもたせてくれました。

村では、皆様のご協力ですすめてきました結婚推進室・子育て支援室・住宅対策室の活動が成果を出し始め、減少してしまっていた人口に歯止めをかけることができましたし、東白川病院の診療体制の整備や、新世紀工房の事業拡大、元気な長寿村宣言など実りのある行政を展開することができました。このことは、村民の皆様のご力強いご支援の賜と心から感謝申し上げます。

さて、新しい年は、国の聖域無き構造改革のなかで、地方交付税交付金の見直し、公共事業の削減等予想以上に厳しさを増してまいりますし、市町村合併も、いよいよ村として結論を出す時期になってきました。

環境・森林の世紀のスタートの年といわれています今年、村民の皆様が「豊かさと安らぎを実感できる」基盤を築くため、「健やかに生まれ・健やかに育ち・健やかに老いる」を私のスローガンとして定め、村の次代を担う若者たちが、将来の夢に向い伸び伸びと活動できる体制の確立と、高齢者の皆様が、いつまでも健康で、生きがいをもって生活できる体制をつくり【元気な長寿村】の構築に努めてまいります。

【人づくりと環境・森林づくりは、次世代への贈り物】このことを肝に銘じて、地域の特色と独自性を大切にしながら、基盤の確立をすすめてまいります。

今まで皆様から夢と知恵をいただいてまいりましたので、今年はその夢の実現のため、一生懸命努力することをお誓いし、新年のご挨拶とさせていただきます。



島倉淑子さん＝下親田
S 17. 4.15生(48人)

「健康で明るく、楽しく元気で美しく…希望をもって前進していきたい」



熊崎進さん＝下野
S 5. 2.20生(47人)

「6回目の午年。今年は最高の年であることを祈り頑張りたいと思います」



安江かつ江さん＝日向
T 7. 8.27生(15人)

「ウォーキングを毎日続け、健康管理に気をつけた1年にしたいと思います」



安江けんさん＝神付
M39. 9.27生(4人)

「元気でいられることが嬉しい。今年も草刈りの仕事を頑張ってやりたいねえ」

謹 賀



希 望 の 新 年

村議会議長 安江 眞一

村民の皆様、明けましておめでとうございます。

希望に満ちた新春を、ご家族お揃いで穏やかに、お迎えのこととお喜び申し上げます。

過ぐる平成13年は、アメリカに於いて想像を絶する同時多発テロ事件が発生し、多くの人々が不幸にみまわれ、その犯人を捕らえる為として戦争を起し、人間が人間を殺傷するという人類にとって非常に不幸な1年でありました。また、東白川村にも不景気の波と、政府の構造改革の痛みを実感する暗いニュースがありましたが、村民皆様の理解と努力によりまして、国道256号日向バイパスが姿を現し、同国道沿いには東の玄関口"茶の里会館"がオープン。小規模合併浄化槽も可動し、水道拡張事業も完成に近づいてまいりました。

年末には、皇室に於いて、敬宮愛子内親王が誕生されるという明るいニュースで平成13年の幕が下りるとともに、新しい平成14年に向い希望が生まれてまいりました。

今年は議会にとっても任期の最後の1年であり、希望の年としたいものであります。特に市町村合併問題につきましては、平成17年3月がタイムリミットとなっている市町村合併特例法の適用を受けるための重要な1年となります。広域市町村合併を実現するには話し合いの時間が必要で、村民、議会、村長の大きな課題となってまいります。議員一同、皆様のご意見を伺いながら、慎重かつ大胆に結論を出していかなければなりません。決議は次期議会に委ねることになりますが、今年1年、美濃加茂市、可児市、加茂郡、可児郡の2市2郡（全11市町村）が協議していくことになります。

また村内においては国道の1日も早い2車線全線開通、IT事業の採択、道の駅の着工、水道事業の完成、新しい産業の出発など懸案事項がめじろ押しであります。議員一同一致団結して対応する覚悟でございます。村民皆様のご指導、ご支援を重ねてお願い申し上げ、年頭の挨拶と致します。



松岡聡さん=陰地
H 2.7.5生(33人)

「サッカーがもっと上手くなるように頑張りたい!もちろん勉強も…」



今井りかさん=下野
S 53.8.21生(25人)

「去年、取得した介護福祉士の資格を生かして、仕事を頑張りたいです」



安江智樹さん=陰地
S 41.9.23生(25人)

「仕事や私生活の充実のためにも、病気をせず健康に過ごしたいです」



杉山信男さん=大沢
S 29.11.1生(48人)

「急がず、焦らず。この年を期に、自分にゆとりが持てるようになりたいです」

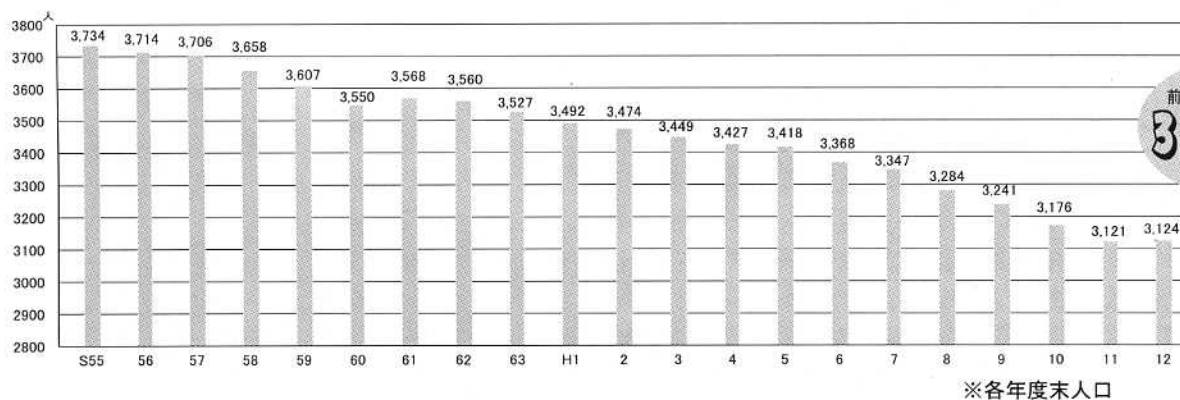
東白川村 10大ニュース

昨年は、みなさんにとってどんな1年でしたか？

すでに2002年はスタートしていますが、今一度、東白川村にとっての2001年を振り返ってみましょう。そこには、更なる村の発展へのカギが隠されているのかもしれません…。

1 15年ぶりに村の人口が増加!(前年比)

エコトピア住宅対策室、子育て支援室、結婚推進室などの人口対策事業が成果を出しつつあります。



2 元気な長寿村宣言記念大会を開催(6/29)

「健康な村宣言」から50年という節目の年。保健・福祉・医療の連携など、村民誰もが健やかで豊かな生活ができることを目的として『元気な長寿村』が宣言されました。



3 山・川・海思いやりの森造成事業開催(10/20)

「山に木を植えて水をきれいにし、川と海に魚を増やす」との趣旨から愛知・岐阜・三重の漁連関係者400人が来村し植樹を行いました。

4 平地内にショッピングセンター誕生(3/23)

村内初の集合型共同店舗として、3月にオープン！
地域密着型の店舗を目指し邁進中です。



平成 13 年

5

ハンセン病について考える～東白川村 出身者と54年ぶりに和解(11/6)

昭和22年に村を離れてから施設に入られ、54年ぶりに公式に里帰りされた安江さんに村長が陳謝し、今後のことを話し合うことで和解することができました。



つちのこフェスタ、ふるさと夏祭り、秋フェスタ、お松 さま祭りの4大イベント大成功(5～12月)

6

村の4大イベントの合計集客数は約1万人！どのイベントも好天に恵まれ、大勢の方々に参加・参画していただきました。

7

長瀬バイパス公共事業新規採択内定(12/13)

「狭い」「危険」と早期改善が強く求められていた道路改良が、ついに公共事業として始動！平成17年の完成を目指します。

8

新世紀工房(茶の里会館・茶工房)竣工(4/4)

“東の玄関口”として4月にオープンした茶の里会館。村の特産品である「茶」の振興とともに農業振興と自然環境保全の新たな拠点となっています。



初の女性模擬議会を開催(2/1)

9

13名の女性が出席し、個性豊かな女性の感覚で、「少子化問題について」など様々な問題について質問が展開されました。

10

美濃東部広域農道久須見地域の工事着工(12/11)

広域での大きなプロジェクトの一環として、白川町に繋がるトンネル工事がついに始動しました。平成18年の完成を目指します。

えっ！市町村合併？

「市町村合併？東白川村には関係ないんじゃないの？」と思われがちな市町村合併。しかし、それほど遠い話でもなく…本村にも合併の波は近づきつつあります。そこで、皆さんに市町村合併豆知識として、合併に関するメリット・デメリットについて紹介しましょう。

市町村合併の必要性和メリット

高齢化社会への対応

過疎や中山間の小規模な町村では、高齢化の進行や若年層の減少により、お年寄りのための福祉サービスの充実が難しくなりつつあります。しかし、その課題について広域的に対応することで、個人負担を軽く、サービスをさらに充実させることが可能となります。

少し前は…



今は…



そのうちに…



住民サービスの向上



今まで市町村ごとに行われていた事務を一ヶ所にまとめることが可能なため、職員数に余裕が出てきます。その職員を福祉や文化など直接住民の方々に接するサービス部門に配置することで、住民サービスが向上します。また、利用が制限されていた他市町村の公共施設（図書館、スポーツ施設など）が利用できるようになります。

地域の一体的な整備



都市計画や農業・工業用地など土地利用について、より広い範囲で総合的に考えることができるため、地域の一体的な整備が図れ、スケールの大きなまちづくりが図れます。

行政の効率化



合併により三役や議員数が減少し、その分の経費が節減されます。また、将来的には組織の効率化により職員数も減員することができます。

予想される市町村合併パターンの例



■パターンA (11市町村・222,008人)

美濃加茂市、可児市、坂祝町、富加町、川辺町、七宗町、八百津町、白川町、東白川村、御嵩町、兼山町

■パターンB (8市町村・108,889人)

美濃加茂市、坂祝町、富加町、川辺町、七宗町、八百津町、白川町、東白川村

※人口は平成12年国勢調査による数値です

市町村合併から心配されること

Q. まちが大きくなって、住民の声が届きにくくなるのでは？

A. 議員定数が減少することで住民意見が届けにくくなることが心配されます。今まで以上に直接住民の皆さんの声をお聞きする機会を設け、行政に反映させる仕組みをつくっておく必要があります。

Q. 福祉などのサービス水準の低下や水道料金が高くなってしまふのでは？

A. 一般的にサービス水準は高い方に、負担は低い方に調整されることが多いといわれています。これは合併前に市町村間で話し合って決められます。

Q. 合併したことで、今までの役場が無くなり遠くの庁舎まで行かなければならないのでは？

A. 合併しても現在の役場は支所として使われます。住民票や印鑑証明の受け取りといった窓口サービスは、今までと変わりなく受けられます。

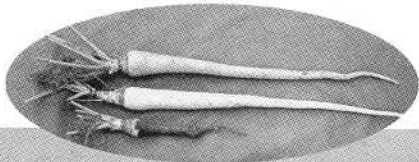
Q. 中心部だけがよくなり、周辺部は取り残されてしまふのでは？

A. まちづくりは、合併後の市町村全体が一体となって行わなければなりません。合併に際しては、合併後のまちづくりである「市町村建設計画」を策定し、周辺部における生活基盤の整備や地域の均衡のとれた発展を図ります。

【どうして今、市町村合併なのか？】市町村の自主的な合併が円滑に行われるよう、国においては「市町村合併特別法」という法律が整備されていて、合併後のまちづくりを手厚く保護する財政的な支援策が講じられています。しかし、この法律には平成17年3月31日までに合併した市町村に限るという規定があるために、にわかに市町村合併がクローズアップされてきたのです。

▶上から橙色、白色、紫色の人参が採れました！

(安江敬一さん・大口)



できごとと事情

出来栄は…大満足♪ 小学校の音楽発表会

児童に「今日の発表はうまくできた？」と訪ねると「うん♪」と言。笑みのあふれる温かい冬のひとときでした。



▲「3匹のこぶた」を熱唱する1年生

今回は初めての参加となる1年生は、ブタのお面を使った斉唱「三匹のこぶた」など三曲を披露。また、5年生は今回初の試みとして、グループ単位で演奏を発表する「チームアンサンブル」を披露すると、児童たちの一生懸命な姿に会場からは惜しみ無い拍手が送られていました。会が終了し、会場を後にする



十二月一日、小学校の音楽発表会がはなのき会館で開催され、今まで練習を積み重ねてきた歌や演奏を、学年ごとに発表しました。

◀「間違えないように…」真剣です

12月1日生まれのお友達☆

皇太子妃雅子さまの無事ご出産の朗報が日本中に響きわたった十二月一日。村の母子健康センターでも新たな命の誕生が…。本県郡穂積町在住の安江久美さんが、同センターで一日の早朝に元気な男の子を出産されました。その前夜「雅子さまが入院され…」とのニュースが流れるなか「同じ日に生まれたらいいねえ」と野村助産婦と話していた矢先の出来事なだけに「光栄です」と喜びも大きいようです。また、センターの利用は今回が二度目で、平成十一年の出産が、ちょうど二千人目の利用者であったことなど『流れに倅』的な出来事に本人も少し驚いているとか。寒さの増す季節に心温まるホットな話題でした。



◀大登（ひろと）ちゃんを抱く安江さん

人のためにできること…

平の安江一三さんが、身体に障害を持ちながら多くの困難を克服し、自立更生された方に贈られる『岐阜県福祉関係知事顕彰』を受けられました。

安江さんは、「身障である自分に合った仕事を…」と昭和四十二年に勤務していた木工会社を辞め、木工大工を開業。主に神棚や家庭用品を製作、販売するとともに家屋の小破修繕・改築木工大工として生計を立てる一方、身障協会東白川分会長として、会員の自立更生のために会員宅を訪問し相談を受けたり、身障者や独居老人宅、公共施設の修繕工事を無料奉仕するなど、



▶顕彰状を手にする安江さん

現在でも福祉の総合的ボランティア活動に尽力されています。更なる今後の活躍に期待が集まります。

つちのこ材の

「ひよこくらぶ」でメリークリスマス

▶初めて見るサンタさんに緊張きみ?



「ひよこくらぶ」主催のクリスマス会が、はなのき別館ふれあいホールで行われました。この日会場に訪れた三十組の親子は、十二月生まれの子の誕生会や、サークルかくれんぼによる人形劇・歌遊びなどを楽しみ、会の後半には、未就園児一人ひとりにサンタクロースからプレゼントが手渡されるなど、内容の充実したクリスマス会となりました。



十二月四日、未就園児(0歳児〜二歳児)の親子で構成される「ひよこくらぶ」



▲人形劇「この指どこ」の1シーン

▶人形劇に見入る参加者たち

P T A役員、門松作りに奮闘

玄関に置くだけで、お正月気分を高めてくれる小道具といえは：門松。村内の小中学校の玄関にも毎年、門松が飾られているのをご存知でしょうか？これは各P T A役員の方々が毎年製作しているもので、今年もそれぞれの学校には、高さ二メートルほどの華やかな門松が姿を現しました。

十二月二十一日の夜、その作製が行われた中学校では、P T A役員と先生の十四人が「ココつて去年、どうやってやった？」「去年の写真を見ると」と悪戦苦闘した結果、一時間ほどで門松は完成。作り終えた役員の方からは「子どもたちのためやでな」との声もあり、広い意味での「ふれあい」の感じられる門松作りとなりました。



▶「少し切った方が」と一基の門松に右往左往

年の瀬 お松さま祭開催

愛子様ご生誕を祝つての鏡開きで祭りの幕が開けると、会場に訪れた人々は、この日を待ちかねたとばかりに、お目当ての迎春用品や、大鍋の準備されているテントへと足を運んでいました。また、ステージイベントとして、大道芸や子護神社神楽獅子保存会などの披露もあり、会場は終始賑わいをみせていました。



▲会場には人・人・人!



▶松茶太鼓の演奏での幕開け

天候に恵まれた十二月二十三日、茶の里会館前の広場を会場に「お松さま祭」が開催され、約千人が会場に訪れました。「それ！ドン！それ！ドン！」と威勢の良い松茶太鼓少年部の演奏、内親王

「新着メールがあります」



「笑顔の集まる場所に…」

松岡みさえ（陰地）

去る12月4日、はなのき別館で、ひよこくらぶ主催のクリスマス会を行いました。子どもの笑顔の数だけ、お母さんたちの笑顔の数もそろそろ一日となりました。

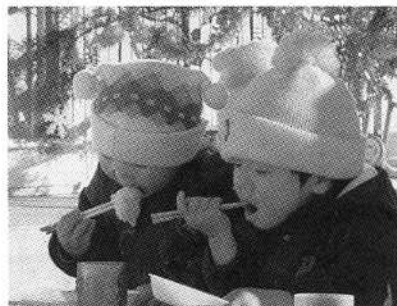
乳幼児期の子育ては短く、過ぎてしまえば大半を忘れてしまいますが母親にとっては、毎日毎日子どものために朝から晩まで尽くしている自分にストレスを溜めてしまうことが多いように思います。

そうした母子の集まりが『ひよこくらぶ』であるわけですが、同じ年頃の子と遊んだり、母親同士で話したりする唯一の空間であればいいと感じています。

昨年は、こうした出会いの場が多くなるように、各地区混合のグループを構成して活動してきました。時代の流れとともに子どもが少なくなっていますが、それゆえに協力し合って楽しい子育てをしていけるといいと思っています。



▲年男＆年女の5年生集まれー！



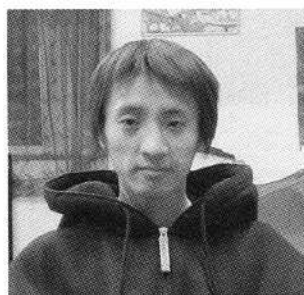
▲つきたてのお餅をほお張る園児



▲笑顔のこぼれる「性」の授業

かっせや

～みんなの広場～



仲間あつまれ

▼今井忠樹さん

（越原陰地・20歳）

白川町土田屋商店

勤務



- ※「この村？不便は感じないし、好きですよ」と故郷について話してくれる若者を紹介しましょう。
- 趣味は？
音楽。聴くのが好き
- 今、夢中なこと
最近始めたギター。今は毎日の練習が楽しいです
- 今やりたいこと
スノーボード。（今期から始めようと思ってます）
- 好きな異性のタイプ
友達感覚でサッパリした感じの子が好きですね
- 結婚について
二十五歳までにはしたい：

わが家のスターは ☆満1歳☆



新田沙南ちゃん

（政直さん・沙織さん＝中通）

このコーナーの子どもたちはみな同い年。10年後、20年後「広報」を見ればホラ！1歳のあの子の顔が…

戸籍の窓 (12月1日～12月31日)

●おくやみ申し上げます

今井 たね 91歳 (西 洞)
 安江 光江 87歳 (平)
 安江 末男 75歳 (日 向)
 安江たけの 85歳 (陰 地)



職場アレコレ



輝いています！働く女性

「頑張ってくれた従業員の8人には感謝しています」と話されるのは、東白川電器（西洞）を経営される今井幹雄さん。主に電器部品の組み立てが行われている事業所ですが、4月に大きな注文（平常の4割増）が入ったことで、12月までの9ヶ月は大忙しだったとか。

「夜や休日は家のこともしないかねでねえ。休みは無いよ…」と、そこには平均年齢50代後半、大半が主婦という女性従業員たちの頑張りが…。それでも、笑顔とともに「忙しくて、楽しくて、老化なんかしようれん（笑）」「職場の雰囲気さえで楽しいよ」との声のあふれるホットな職場でした。

2ショット



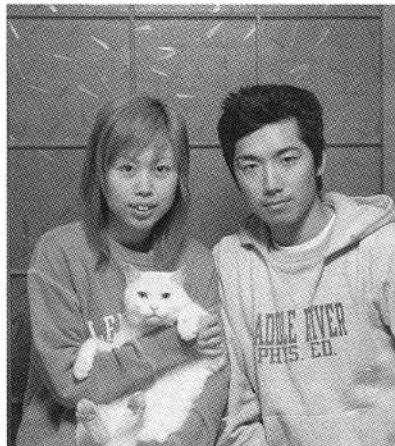
嶋倉大二郎さん・久美子さん

(柏本)

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

今月は、十一月三日に式を挙げられた柏本の嶋倉大二郎さん・久美子さん夫婦を訪ねました。

先日、共に成人式を迎えたばかりのお二人が知り合ったのは、高校一年の春、共通の友人宅での偶然の出会いだったとか。その後、一目惚れした奥さんの控えめな(?)アタックがご主人の気持ちを掴んだのか、その三月に交際がスタートし、三年後の昨年三月十



六日にゴールイン。「入籍はこの日に決めてました。二人が付き合っていた記念日ですから…」と、二人にとって更なる記念日になっていくようです。お互いの存在について尋ねると「いないと困る存在です」と話すご主人に「いいえと不安。仕事で帰りが遅いだけでも寂しいし…」と奥さん。照れる姿とともにお互いを信頼している気持ちが強く伝わってくる仲の良き夫婦でした。

ちょっと、よって

▼10月23日、第1回岐阜県中学生「ものづくり」作品コンテストの審査が岐阜市で行われ、東白川中学校から応募した作品のうち2作品が次のとおり受賞しました。

ほっとアツクル



★最優秀賞★ 『着物探究』

安江円香（下親田）＝2年生
 「ゆかたの製作だけでなく、着物についていろいろ調べノート作りに力を入れました。」



★入選★ 『箱』

荻田賢史（陰地）＝2年生
 「キャスターを付けて動きやすくした点と一番下に扉を付けたところがポイントです。」



青年国際交流事業に参加してみませんか

内閣府では、将来を担う国際感覚豊かな青年を育成するため、様々な国際交流事業を実施しています。

■現在、平成14年度の「国際青年育成交流」「日中、日韓青年親善交流」「世界青年の船」「東南アジア青年の船」「国際青年の村」事業の参加青年を募集しています。

■問合先／内閣府（青年国際交流担当）TEL03(3581)1181
岐阜県庁青少年課（企画担当）TEL058(272)111

○介護保険情報○

介護保険制度の一部改正に伴い、平成14年1月1日から介護保険の給付にかかる支給限度額の短期入所管理方法が変更されました。

【改正前】（平成12年4月1日～平成13年12月31日）

▼訪問通所区分 ▼短期入所区分

※居宅介護サービスが2種類に区分されていました。

【改正後】（平成14年1月1日～）

▼居宅介護サービス

※短期入所サービスが居宅介護サービスの中のサービスとして位置付けられました。

●お問い合わせは役場・保健福祉課（有2215）まで。

保健婦だより

油断大敵・かぜとインフルエンザ

○寒さや乾燥で、鼻やのどの防御機能が低下している。

○低湿・低温でウイルスの感染力を維持する。

○大勢が室内に集まり、ウイルスが充満しがち。

▼これらの条件が重なる冬は、インフルエンザウイルスに感染されやすい。感染を防ぐには、これらの逆を心がける。室内を加湿したり、こまめに喚起することが大切です。

▼かぜやインフルエンザを防ぐためには、ウイルスとの接触を避けること、ウイルスに負けない体をつくるのが大切。普通のかぜは、ウイルスが付いた手を、まめに洗う事が重要な感染予防法です。また、ウイルスなどに対する体の抵抗力を高めるためには、日頃から十分な休息とバランスの良い食事、適度な運動を心がけて、体力をつけておくことが大切。

『夢への前進』

成田真由美 著

パラリンピックは障害者のリハビリではなく、れっきとした競技スポーツであると認めてもらうのが私の夢。そのために私はここまで泳ぎ続けてきた。泳ぐこと…私にとってそれは、世間に向けてメッセージを送るということ。障害者はかわいそうな人じゃない、自分たちと同じふつうの人間です。車椅子の『水の女王』が自らの半生を語った自伝。



社会教育あれこれ

▼平成十三年の成人式は、日本各地でいろいろなニュースとなつた。静かに話が聞けない成人。式典中に携帯電話をかける成人。クラッカーを鳴らして邪魔をする成人。酔っぱらって一升瓶を持つてくる成人…。大人は眉をひそめ「困ったものだ」と嘆いた▼十四年の成人式では、参加者を飽きさせないように、いろいろ工夫した式典が行われた。しかし、確かに構成の工夫は必要であるが、成人になつたお祝いよりも、おとなしく、静かに式が終わることを第一に考えた構成だとしたら、あきれて言葉をなくす▼常識、ルール、マナー、道徳…。社会では守らなければならないことが数多くある。それは、いつ、誰が、ど

社協から

岐阜県共同募金会東
白川分会から

本年度も「赤い羽
根共同募金」及び「歳
末たすけあい募金」
運動に多くの方々に
善意を寄せていただ
き、ありがとうございます
이었습니다。途中経過
ですが、赤い羽根募
金は昨年を上回る募
金がありました。あ
りがとうございます。
最終的な集計結果は
社協だより（二月発
行）紙面上で報告さ
せていただきます。

1/27

平成13年度文化講演会

- 日時／平成14年1月27日（日）
開場13:00 開演13:30
- 場所／はなのき会館・大ホール
- 講師／中村順司（名商大野球部監督、
元PL学園野球部監督）
- 演題／「野球と私」
- 問合先／教育委員会（有2172）

ありがとうございました

御寄付（12/31現在）（敬称略）

【社会福祉協議会】

小豆＝安江吉春（加舎尾）
小豆・古切手＝神戸佐津子（平）
古切手＝安江すみ（平）
古切手＝今井桂子（平）
古切手＝安江章江（平）
古切手＝匿名
金10万円＝安江利勝（平）
金3万円＝古田小富（上親田）
【東白川中学校】
スノコ＝大坪克臣（上親田）

【みつば保育園】

もみの木3本＝田口治道（平）
お手玉100個＝安江澄（西洞）

【東白川村】

金10万円＝今井幹雄（西洞）
金8万5千718円＝岐阜県中古車販売協会
中濃支部美濃加茂ブロック
門松1組＝安江成喜（加舎尾）

あなたの夢を県政に

平成14年度「県政モニター」募集

▼県では「県政モニター」を募集しています。詳細は『ふれあい ぐらしと県政』1月号をご覧ください。

▼問合先／県庁広報課広聴担当
TEL058-272-1111（内2077）

URL <http://www.pref.gifu.jp>

申告納税相談日程について

■相談場所／役場別館・わくわくスポット（元喫茶室）

■相談時間／午前9時～午後4時30分

■相談日／下表のとおり

■持ち物／申告書、源泉徴収票、筆記用具、印鑑、申告に必要な領収書・証明書・収支内訳書など

■お願い／▼給料や年金のみの方は、申告書に源泉徴収票を貼り付けて署名押印のうえ同封の封筒で返信してください。▼3/13以降は会場が混み合いますので申告はお早めに。

日付	集落名
2/18	曲坂・栃山
19	柏本
20	中谷・加舎尾
21	宮代・下野
22	大沢・久須見
25.26	日向・陰地
27	黒淵
28	大明神
3/ 1	中通
4.5	上親田・下親田
6	神付
7	西洞
8.11.12	大口・平
13.14.15	申告を済ませていない方

こで子どもたちに教えればよいの
のだろう？「学校で教えてほし
い」「教育委員会ですべてほし
い」と、今あまりにも人任せの
子育てが多すぎはしないだろう
か？▼戦後、高度経済成長に
よって生活が豊かになってきた
時、人々は自分の心も一緒に豊
かにしなければいけなかった。
生活にゆとりができ、大人たち
は「生きがい」という旗印の下
で、自分の人生を豊かにするこ
とに没頭した。その時、弱者や
子どもを忘れたので、弱者が
ないだろうか？どうやらここ
にきてそのツケが回ってきたよ
うな気がするのだが。。

花 作品展

東白川中学校 1年生
「平面構成」



安江可奈子さん
(日向)

東白川小学校 6年生
「ストップ! その瞬間」



安江渉くん (柏本)

安江萌恵子さん
(日向)

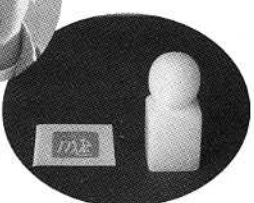


越原保育園
「かるた」

東白川中学校 3年生
「てん刻」



古田健祐くん
(平)



中島大尊くん (西洞)



安江孝太くん
(日向)

短歌

三戸きり
 みたけたる山ぶどうの実に手の青く染まりて想う幼なかりし日
 夕映えにさざ波のごと茫揺れ小鳥翔び立つ羽音のこして
 一人なるわれにあれど外に出て友らと話せる幸がある
 細枝にしがみついている庭の花梨その実二つは己が姿か
 足痛め踊りあきらめて早や四年友の舞うさまに心ときめく
 秋の日を古稀の体に鞭打って豆の取り入るるに日没早し
 古稀迎う同窓の友にお下げ髪の面影ありて「ちゃん」付けて呼ぶ
 期待せし紅葉まだ早起飛騨路ゆくまばらに赤きは「ななな」らし
 紅葉谷の吊橋渡る君とわれ合はぬ歩調の揺れにはしやぎぬ
 帽子もて秋の蝶追い幼子は野道かけ行く落葉散らして
 霜柱踏みば昔と変らざるひびき懐し山畑の道
 針仕事久しくなす箱の中に赤き玉針錆て滑らず
 咲きみつる山茶花庭にはなやげりしばし散らすな年暮るるまで
 秋さんま柿のもみじの皿にのせ食べしよ家族賑やかなりし
 霜月と悟る寒さや年老いて軒端雀が日向へ誘う
 隣村に嫁ぎし友と久に逢い手を握り合う人込の中
 部屋内を歩いてまたも夫ころぶ試練の日々を過すこのごろ
 皆様の作品をお寄せください。ご投稿は奇数月の二十日までに
 陰地 安江嘉久一宛にお出してください。



人口の動き

— 12月末住民登録人口から —

世帯数	904世帯
人口	3,126人
転入	11人
転出	6人
出生	0人
死亡	4人

先月と比較して 1人増
昨年と比較して 2人減

こぼれ話

▼最近、各地の山間の景観に興味を持っていて。自身田舎に住んでいながら、面白いというのはおかしな気もするが、結構、田舎をウオッチングしてみると面白い▼特に辺鄙な『田舎』などでは、これぞ日本のふるさとそのものといった情景に出会う時がある▼そんな時は妙に郷愁のような懐かしさを感じたり、住民たちの生活を想像したりするとなかなか面白い▼都会の人が田舎の生活に羨望を持ったり、癒しを求めるのも解るような気がするし、自分の住む村を客観的に見る事もできる▼こういう感覚がダイレクトな自転車やミニバイクで出かけるとよい (丁)